

市町村名	竹富町						
令和5年度沖繩離島活性化推進事業費補助金検証シート							
事業名	竹富町集会所ネットワーク環境拡充業務			事業類型	<input type="checkbox"/> 産業振興 <input checked="" type="checkbox"/> 定住促進 <input checked="" type="checkbox"/> その他		
担当部課名	DX課	<input checked="" type="checkbox"/> 現年事業または繰越事業 <input type="checkbox"/> 現年事業 <input type="checkbox"/> 繰越事業	事業実施(予定)年度	令和5年度			
事業内容	島嶼からなる竹富町において、町内の各地域の集会所にインターネット環境を構築し、海上交通等に左右されない行政サービスの提供、また、地域間交流の活性化等を促進する拠点施設としての整備を行った。						
先導性等に係る取組	<input type="checkbox"/> 自立性 <input type="checkbox"/> 官民協働 <input checked="" type="checkbox"/> 離島地域特有の条件不利性に起因するもの	<input type="checkbox"/> 政策間連携 <input type="checkbox"/> 事業推進主体の形成	<input type="checkbox"/> 離島活性化を担う人材の確保・育成 <input type="checkbox"/> その他				
効果発現年度	<input type="checkbox"/> 当年度 <input checked="" type="checkbox"/> 後年度(R6年度)						
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他 ()						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「補助金」+「市町村負担」ベース)		R5年度	年度	年度	年度	年度	
	当初予算額	35,678					
	増減額						
	予算現額	35,678	0	0	0	0	
	前年度から繰越	0	0	0	0	0	
	翌年度へ繰越	0					
	計(A)	35,678	0	0	0	0	
	執行済額(B)	17,908					
	うち補助金充当額	14,326					
	不用額	17,770	0	0	0	0	
執行率(%) (B/A)	50.2%	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!		
予算の状況の説明	電算機器、ディスプレイモニタの仕様を最低限の基準を満たした下位モデルに変更したことに伴い、当初予算額よりコストを抑えることができ不用額が多く発生した。						
活動目標(指標)及び達成状況	活動目標(指標)		達成状況				
			R5年度	年度	年度	年度	
	ネットワーク環境整備(施設数)	目標	20				
		実績	20				
		目標					
	実績						
達成状況説明	集会所施設20施設について、ネットワーク環境を整備した。						
成果目標(指標)及び進捗状況	成果目標(指標)		基準値(年度)	年度	年度	年度	後年度目標値(R6年度)
	利用者数(人)	目標	-				15,540
		実績	-				405
	成果目標(指標)		基準値(年度)	年度	年度	年度	後年度目標値(年度)
		目標					
		実績					
進捗状況説明	・各公民館にて芸能大会の発信や、海外との文化交流、救急救命講習などをオンラインで実施できるようになった。 ・一方、大勢の参加が見込める集会所でのイベントや会議等の開催頻度が当初の想定より少なかったため、平時のWeb会議、役員会議や祭事の練習等の利用に留まってしまい目標値へは届いていない。						

成果目標に対する原因・要因分析		改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
取組の検証	当初に想定していたイベントや会議は、人数・規模や所管課の兼ね合いで別施設での開催が多くなってしまい、集会所での利用率が下がってしまった。また、周知・浸透不足により、導入されている設備をどのように使っていないか分からないとの意見も多く寄せられていることから、集会所ごとの利用率に偏りが生じてしまっていることが成果目標達成に届かない大きな要因だと考えられる。	<ul style="list-style-type: none"> ・集会所に設備が設置されてる旨の周知 ・設備利用者に対する研修、問い合わせ窓口の設置(リテラシー向上) ・町内各地域を遠隔で結ぶイベント等の開催(機会創出) ・利活用報告の周知徹底
	今後の取り組み方針	
<p>本設備の利用者数を増やすため、各拠点施設において操作研修や他地域・他団体での先進的な活用事例の共有を行い、新たな利用アイデアや可能性への気づきを促す。</p> <p>また、利用に関する不安や疑問を解消するための問い合わせ窓口を設置し、住民が安心して設備を利用できる体制を整える。さらに、設備を活用したイベントやデジタル体験などを定期的に開催し、住民が楽しみながら行政サービスや施設の利活用方法に触れられる機会を創出する。こうした取り組みが定着することで、各地域の特性やニーズに沿った利用方法が広がり、延いては行政サービスの利用率向上とともに地域の交流促進や活性化へとつなげていく。</p>		

資金の流れ (資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)				
	総事業費	補助対象事業費	補助金充当額	補助対象外経費
	17,908	17,908	14,326	0
<pre> graph LR A["竹富町 (17,908千円)"] --> B["委託料 17,908千円"] B --> C["株式会社興洋電子 (17,908千円)"] subgraph D [委託内容] E["竹富町集会所施設ネットワーク環境構築業務"] end </pre>				

資金の流れ、費目・評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	指名競争入札による業者選定のため適正であると考えられる。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	積算については、3者見積により予算編成を行い、補助確定後も事業費見直しを行い、当初の予定より50%事業費を圧縮し適正な規模に補正した。
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。	—
○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	費用、使途については精算段階で検査を実施しており、目的に即し、必要なものであったと判断した。	